

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

認可外保育施設助成事業

【 保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している認可外保育施設に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 認可外保育施設における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 認可外保育施設助成事業

- ・ 認定保育施設等に入所している児童の保育に要する経費助成を行った。
- ・ 認定保育施設等の施設整備、入所児童の処遇改善に要する経費助成を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,665	57,819	56,098		1,721
主な支出内訳				
・ 認可外保育施設助成事業				
認定保育施設乳幼児保育助成金				39,708
認定保育施設運営改善費補助金				8,829
届出保育施設運営改善費補助金				103
新認定保育施設運営改善費補助金				7,458
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				5,450

## 認可外保育施設補助金

(単位:千円)

区分	保育所 ピヨピヨ 保育園	保育室 みつばち	ゆめの森 保育園	計
認定保育施設乳幼児保育補助金				
(乳幼児保育助成金)	39,708			39,708
小計	39,708			39,708
認定保育施設乳児加算補助金				
(乳児保育加算助成金)	2,403			2,403
小計	2,403			2,403
認定保育施設運営改善費補助金				
(設備等整備費)	270			270
(施設整備費)	250			250
(施設使用費)	3,840			3,840
(従事者給与改善費)	592			592
(従事者研修費)	448			448
(健康管理費)	208			208
(特別保育費)	228			228
(児童処遇助成費)			376	376
小計	5,836		376	6,212
認定保育施設保険加入費補助金				
(保険加入費補助金)	214			214
小計	214			214
届出保育施設運営改善費補助金				
(児童健康管理費)		68		68
(従事者健康管理費)		25		25
(施設賠償責任保険)		10		10
小計		103		103
新認定保育施設児童処遇助成等補助金				
(児童処遇助成費)		5,064		5,064
(待機児童対策費)		2,110		2,110
(特別保育費)		190		190
小計		7,364		7,364
緊急通報機器整備費		94		94
合計	48,161	7,561	376	56,098
年間入所延児童数	612	206	36	

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て支援課 70 小規模保育施設助成事業							
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	70	小規模保育施設助成事業					
主管課	保育課		関連課					
分野名	健康福祉							
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行なう 待機児童0人							
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考			
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日 ・対象者数=各年3月1日 現在 入所児童数			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯				
	70人	66人	60人					
運営資源 状 況	決算値	56,098千円	63,025千円	45,971千円				
	(国・県)	5,450千円	7,822千円	4,336千円				
	(負担金等)							
	(一般財源)	50,648千円	55,203千円	41,635千円				
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人				
	人件費	9,071千円	9,237千円	9,178千円				
事務事業 運営経費	協働の パートナー							
	総事業費	65,169千円	72,262千円	55,149千円				
	市民1人当 りの経費	369円	411円	315円				
	対象者1人 当りの経費	930,986円	1,094,879円	919,150円				
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価								
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)	
待機児童数(各年度3月 1日現在・私立保育園分)	○	目標値	20	10	10	5	0	
		実績値	76	30				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)	
		目標値						
		実績値						
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)	
		目標値						
		実績値						
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)	
		目標値						
		実績値						
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)								
団体名								

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 待機児童解消を目指しているが、むしろ増加傾向にある。更なる工夫、取り組みが必要。認定保育施設の認可化のため、用地確保を進めているが、選定まで至っていない。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 認定保育施設や届出保育施設に対し、運営支援の充実を図ることにより保育所待機児童の受入れを促し、待機児童対策に取り組んだ。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 認定保育施設の認可化のため、用地確保に努めたが実現まで至っていない。 しかしながら、現在は、用地確保に目途が立ったため、認可化の実現に向けて具体的に対応しているところである。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 県をはじめとした各関係機関と連携を密にとりながら、認可化の実現に向けて対応していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	認可外保育施設は待機児童を抱えた本市にとって認可保育所と同様に保育資源として重要であり、そのため運営支援は必要である。一方で、今後は認定保育施設の認可化を進めることが重要であり、施策として重点的に進める必要がある。				
担当課長氏名:		保育課長 奈須 菊夫			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	認定保育施設は、本市の現状として重要な保育資源であり、運営支援が必要である。今後は認定保育施設の認可化を進めることもあわせて重点的に進める必要がある。				
担当部名	こどもみらい部	部長名	岡部 富夫		